

令和7年度

中南の社会教育

ことも・担当者のために
中南教育事務所
生涯・地域の応援隊

中南管内社会教育の推進に向けて！

中南教育事務所は、新体制で令和7年度の業務を開始しました。今年度も市町村の皆様との連携を密にしながら、生涯学習・社会教育の振興に総力を挙げて取り組みたいと考えております。今年度の中南教育事務所社会教育関係スタッフは以下のとおりです。よろしくお願いします。

所長	岡村 重勝
次長	棟方 仁人
教育課長	木村 傑
社会教育主事（指導主事兼務）	古川 和生
社会教育主事（指導主事兼務）	栗林 基由

※ 教育委員会訪問では、主任指導主事又は指導主事が同行します。



岡村 重勝 所長

管内社会教育関係課長・公民館長及び担当者会議

5月23日（金）弘前市立中央公民館相馬館長慶閣を会場に、管内社会教育関係課長・公民館長及び担当者会議が行われました。所長のあいさつに続いて古川社会教育主事が「中南の社会教育行政の方針と重点」について説明した後、栗林社会教育主事が「県が実施する各種事業の要点と各種表彰制度」について連絡しました。

その後は、「児童生徒の不読率低減のために～読書で広がるあおもりの未来～」と題して県教育庁生涯学習課企画振興グループ田子利知指導主事から、「読書バリアフリー法に基づく取組について」と題して県立図書館奉仕課小倉ゆめ主事から情報提供がありました。アンケートからは「不読率の現状、学校司書の配置状況の現状について知ることができました。」「バリアフリーサービスを初めて知って参考になりました。」等の意見が寄せられ好評でした。

開催方法については、多数の参加者が今回の方法で良いとの回答がありましたが、感想からは「リアルとオンラインのハイブリッドにしてほしい。」「時間が少し長く感じられました。」等の意見が寄せられました。来年度に向けて参考にしていきたいです。

本年度の中南管内の主な行事は以下のとおりです。
また、本年度の方針と重点はNo.4に掲載しています。

7月 4日（金）地域学校協働活動推進員等養成講座
7月11日（金）放課後児童対策に係る支援員等研修会（前期）
9月 3日（水）「キャリアサポ」事業ワークショップ
9月 4日（木）青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会
9月22日（月）放課後児童対策に係る支援員等研修会（後期）
9月27日（土）中弘南黒平地区地域スポーツフェスティバル
10月24日（金）地域に根ざしたキャリア教育推進フォーラム
10月～11月 社会教育の教育委員会訪問

Index

■ 研修会のようす

◎スポーツ推進委員研修会
◎地域学校協働活動研修 2

◎放課後児童対策に係る支援員等
研修会（前期）
◎地域課題解決スタートアップ研
修会 3

■ スキルアップ

◎ 「社会教育行政の方針と重点」
..... 4

実践者から学ぶ

テニスボールで筋膜リリース

スポーツ推進委員中弘南黒平地区研修会

6月29日(日)西目屋村中央公民館を会場としてスポーツ推進委員地区研修会が行われました。午前は、「傷害予防のためのセルフケア～テニスボールを活用した筋膜リリース」のテーマで青森県スポーツ科学センター廣本瞭スポーツ科学専門員の講義が行われました。最高のパフォーマンスを支えるコンディショニングの大切さについて実践的な視点からのお話を聞くことができました。また、ケアの実際としてテニスボール



を使った筋膜リリースを参加者全員で体験しました。

「痛い!でも、気持ち良い」の声が至る所から聞こえてきました。アンケートからは「講習と実技が分かりやすく、普及を図る上でも参考となりました。」「実際に筋膜を意識しながら各部位にボールを当てることで効果が実感できました。」等の声が多く好評でした。

午後は、西目屋村スポーツ推進委員の指導の下、モルックを実施しました。参加者全体をランダムな6チームに分け、リーグ戦が行われました。ローカルルールを取り入れたことで円滑かつスムーズな進行でゲームが行われました。和やかな中にも、作戦を考え投げる一投一投に、会場は大きな歓声が響き渡り、思いっきりゲームを楽しんでいました。

CSと地域学校協働活動の一体的推進に向けて!

地域学校協働活動研修(中南地区)

7月4日(金)弘前市立中央公民館相馬館長慶閣を会場に、令和7年度地域と学校のパートナーシップ強化事業「地域学校協働活動研修(中南地区)」が開催されました。管内の小中高の教員、学校運営協議会委員、教育委員会職員が多数参加し、熱のこもった研修会となりました。

『子どもの新たな学びの実現』を目指したCSと地域学校協働活動の一体的推進のテーマで、文部科学省CSマイスターである、

ふくしま学校と地域の未来

研究所安齋宏之代表の講義・演習が行われました。

前半の講義では、コミュニティスクール及び学校運営協議会の概要の確認後、一体化推進の課題と解決策について具体例を示しながら説明されていました。

後半は「地域のいいところ探しをしよう」のテーマで7つのグループに分かれて模擬熟議を行いました。参加者は熟議を通して改めて自分の地域、学校のもつ強みを実感できる時間となりました。



放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期)

こどもたちが大人に求めていること
～支援が必要なこどもへの理解と配慮について～

青森県発達障がい者支援センターDoors
センター長 分枝篤史 氏を講師として

7月11日(金)県武道館会議室を会場に放課後児童対策に係る支援員研修会(前期)が開催されました。「こどもたちが大人に求めていること～支援が必要なこどもへの理解と配慮について～」と題して、こどもの発達の理解を基に「対人関係・状況理解が難しい子への支援のヒント」や「自分中心になりやすい子の支援のヒント」、等について講義していただきました。分枝氏自身の実践例や実体験を基に、「保護者との関わりのポイント」では具体的な対応方法について詳しく聞くことができました。参加者の立場に寄り添ったお話であり、普段悩んでいる児童や保護者への対応について共感できる内容が多く、終始うなずきながら話を聴いている参加者の姿が印象的でした。



実施後のアンケートの記述欄には、「いろんな児童がいる中で、その一人一人の特性を理解し接していくこと、その子にあった環境作りを心がけることを学び、今後の参考にしていきたいと思います。」「こどもたちと接するのが難しいと感じることが多いですが、なるべく、話を聞いてあげようと思っています。本当に安心・安全に過ごせて楽しくいられるように日々頑張りたいと思います。」等の感想があったように、充実した研修会にすることができました。

地域課題解決を目指して

地域課題解決スタートアップ研修会(中南地区)

青森県では「社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決)」に取り組んでおり、今年度、中南地区においては西目屋村で事業が行われることとなりました。7月30日(水)西目屋村中央公民館を会場に社会教育委員、首長部局職員等多様な方々が参加し地域課題解決スタートアップ研修会が行われました。

アイスブレイク、事業説明の後、「健康な未来を育むために」をテーマとしワークショップが行われました。3つのグループに分かれ西目屋村の①理想とする姿②現状の課題③課題の原因④具体的な取組について話し合いました。各グループともに「健康」「食育」「スポーツ」「福祉」について、様々な立場の方々が意見交流し、最後は各班の意見をシェアしました。それぞれ立場は異なっていましたが、共通していたものは「西目屋愛」だったと思います。

今後は実行委員会を組織し事業を行っていくこととなります。本取組が地域の活性化につながることを期待されます。



青森県教育振興計画と社会教育行政の方針と重点

令和7年度「社会教育行政の方針と重点」が改定されました。青森県教育振興基本計画と社会教育行政の方針と重点の関係は下図のとおりとなります。

令和7年度社会教育行政の方針と重点について

